



【メモ】

【日時】平成31年1月26日(土)9:30～12:30頃

【場所】網張の森

【参加者総数】 22名

一般参加者 12名(うち子供7名)

講師 2名

パークボランティア 6名

VC職員 2名

〈講師〉阿部 定志氏(滝沢山岳協会)  
          広野 孝男氏(裏岩山岳協会)

【概況】 (文責：阿部)

- ・ 風もなく穏やかな天候に恵まれ、絶好の雪山体験日和。参加者一同大満足の態。
- ・ 参加者の最年少は4歳女児だったが、全行程を自力で踏破。ふわふわの深雪を体験できて楽しそうだった。
- ・ 雪遊びの中で最も人気を集めたのは、そり遊び。山腹斜面に設定した滑りコースを雪まみれになりながら楽しんでた。
- ・ 講師やVC職員が事前にミニイグルーや雪のテーブルベンチ、雪洞などを造って準備して下さるなどご尽力いただいた。
- ・ また、本番での熱いあま酒やショウガ湯の提供など心づくしに参加者一同感謝の様子。
- ・ さらに、参加者全員にVC職員の手作り記念品が贈呈され、思い出の品となったと思われる。
- ・ 参加者の感想の中には、雪洞体験等を主目的とする行事も期待する声があった。

〈今回参加PV〉6名(敬称略、順不同)  
佐々木(和)、佐々木(満)、福山 昂山、細川、阿部



(上) VC作成の配布資料抜粋

(右上) VC職員の手作りの記念品  
一般参加者全員にプレゼントされた雪をイメージした作品で  
材料の輪切り木片は阿部定志講師の提供



事前に講師たちが造ったミニイグルーや雪のテーブルベンチで記念にパチリ！



開会セレモニー



かんじきの種類や歴史解説：大堀主任解説員



子供用かんじき装着手伝い



まず、準備体操を



かんじき装着時の歩き方説明：阿部講師



深雪もなんのその



参加者最年少（4歳）の子も元気



疲れた訳ではないよ、雪の感触を楽しんでるの



雪遊び「天使の羽」



雪遊び「雪玉投げ」





沢越えの移動 急坂も一人で歩けたよ



雪遊び「そり遊び」 子供たちは疲れも吹っ飛ばし、何度もトライ  
ビニール袋？で作ったソリで雪の斜面を滑る（転がる・・・？）

スタートは良いが・・・



そり遊びで冷えた身体に熱いあま酒は美味しい



講師やVC提供のあま酒やショウガ湯をいただく



広野講師からミニイグルーや雪のブロックづくり方法を聞く



雪洞体験

前夜、広野講師が寝泊まりした雪洞

試しに参加者(大人)が入ってみているところ

(つま先が見えている)

フライシートで入口を塞いで夜明かししたとのこと

※雪洞内の気温は、深夜+0.2℃、明け方で-0.3℃

外気温は-15℃前後だった



雪洞体験：前夜、広野講師が寝た雪洞  
(天井が少し下がっている)



(右上) 雪洞づくり体験  
スコップで少し掘ってみた



全員元気よく下山中

